

(別紙2(2))

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かつたり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	・週2回決まった曜日の入浴となつており、柔軟な対応(体制)ができていない。 ・利用者様主体となっていない。	・本人の希望に添った入浴の環境を整える。	・入居者一人一人の意見を改めて聞き、職員間で共有し希望が叶うようにする。 ・柔軟に入浴できる様な勤務調整を行う。	/2 ヶ月
2	・親しみを持った言葉と勘違いしている威圧的な言葉や、入居者の人格を尊重しない対応があると家族からのアンケートに書かれている。 ・家族の方が、普段から気になる事や意見を言いやすい関係を築いていく。	・一人ひとりの誇りを尊重し、プライバシーの確保の言葉掛けができる、適切でない場合には職員間で注意しあえる関係性を構築する。	・スピーチロックについてのヒヤリハットを共有し、職員間での気付きを学びにつなげていく。 ・職員に向けて接遇やプライバシーに関するアンケートを実施し、必要とする研修を行いケアの質の向上を図っていく。 ・家族様へのアンケートやお便りを活用し意向を吸い上げるように努める。 ・運営推進会議への出席、及び、家族会開催により、家族間の交流の機会を設ける。	/2 ヶ月
3	・地域の行事に参加する事で関係性は築けているが、施設への来所の機会は少ない。 ・運営推進会議に、今参加していただいている方とは、別の地域の人々に参加して頂く。	・事業所に気軽に来ていただけのよう開かれた施設を目指していく。 ・地域の方に施設の避難訓練に参加していただく。 ・昨年より開始している地域セミナーへの参加者との関係性を築き、幅広い方々へ啓蒙活動を行っていく。 ・地域の方が参加できる行事を企画する。 ・地域出身の入居者と馴染みの地域の方々との交流の機会を設ける。	・地域の方に施設の避難訓練に参加していただく。 ・昨年より開始している地域セミナーへの参加者との関係性を築き、幅広い方々へ啓蒙活動を行っていく。 ・地域の方が参加できる行事を企画する。 ・地域出身の入居者と馴染みの地域の方々との交流の機会を設ける。	/2 ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。